事故から学ぶ 石鎚山系 安全登山マップ

✕…死亡事故発生箇所　！…重大事故発生箇所

近年、登山をする方が増え、ここ石鎚山系での事故がとても増えています。
今一度これから歩くルートを確認し、事故や体調不良のない安全な登山を！

石鎚山

鎖場　滑落事故多発！石鎚山で最も危険な場所

鎖場は長い崖でほぼ垂直に切り立っている。壁面は北側に面し、濡れて滑りやすく相当な腕力が必要。恐怖心で動けなくなっても、逃げ場がないため安易に挑まないように！　また、前社森付近の階段は傾斜がきつく、下山中に足を滑らせやすいので注意。

（左から）三の鎖元／冬季の鎖場の迂回路。滑落事故が頻発している危険な場所／鎖場。高度感があり、恐怖心を煽られる。

バリエーションルート　道迷い頻発

成就・土小屋コース以外での遭難事例多し。主な原因は、登山道の不明瞭さ（崩落等）、ルート確認不足。ベテランでも注意が必要。

山頂　気が緩みがち 油断禁物！

登りは気持ちが高揚し不調があっても無理をして登るが、登頂後不調となるケースが多い。引き返す勇気と充分な水分補給を。弥山～天狗岳は熟達者向けのため注意。

成就・土小屋ルート分岐　下山の道を間違えるな！

二の鎖元の鳥居付近に成就社・土小屋方面の分岐あり。ここで間違え下山前に日没となり動けなくなることが多い。ルートの確認はしっかりと！

土小屋登山口

石鎚山系（広域）

道迷い遭難が多発　迷ったら戻るべし！

照明器具を持たない状態で道に迷い、日没後動けなくなるケースが多い。また、迷ったら沢や谷には下らず、登り返すか、尾根を目指して上がること！

石鎚山系
安全登山情報

石鎚山系連携事業協議会　※データ提供：愛媛県警・西条市消防本部（2005～2020年度）